

## 卒業展・修了展・学校展 2010年12月ー 2011年5月

**時間=11:30-19:00**
**〔初日・最終日等、時間が異なる場合があります〕**
**会場=BankART Studio NYK**

**多摩美術大学映像演劇学科卒業制作展2010「うれしがっしの心」**  
**12月19日(日)ー26日(日)**
**〔初日15時より〕**
**NYK全館**  
 主催:多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科  
 画 eien2010tau@gmail.com 080-6569-1782 (代表)

「うれしがっしの心」とは、喜びと感謝、苦悩、矛盾、意志、熱意など、表現におけるエネルギーです。本展は、多岐にわたるジャンル、メディア、方法論に溢れていますが、全ての作品の源流に「うれしがっしの心」が流れています。作家の嗜好や衝動を尊重し、独立独歩の姿勢をもちつつ、あえてそれらの作品を単一会場に集結させることで、68名それぞれがお互いのポジションングを発見、再確認していく展覧会を目指しました。作品がどのような意味を持つのかを探る内容となっています。ぜひこの展覧会で「うれしがっしの心」を見つけてください。

シンポジウム 12/23(木・祝) 17:30-「うれしがっしんポジウム」  
 ゲスト:大木裕之氏、小田島等氏、箕浦建太郎氏、ヌケメ氏、快快  
 http://www.eien2010.com/

多摩美術大学映像演劇学科は既存のジャンル、メディア、方法論、また「美術」という枠組みにもとらわれない多種多様な「表現」を目指す学科です。劇映画とアートフィルム、古典劇と前衛演劇といった一見相容れない分野がまじりあい、ぶつかりあう環境の中で自分だけの「表現」を獲得するために、映像や演劇だけでなく写真、文章、平面、立体、音、身体などあらゆる技法と知識を学びます。また学期末にはフィールド・トライアルという学生のみで制作、運営、発表する制作展があり、表現する場を創造することを経験していきます。

上野毛キャンパス:東京都世田谷区上野毛3-15-14

**女子美スタイル☆最新線**  
**JOSHIBI Degree Show 2010**  
**2月11日(金・祝)ー14日(月)**
**NYK全館**  
 主催:女子美術大学・女子美術大学短期大学部  
 画 042-778-6123 (女子美術大学企画部広報・課)

女子美術大学の大学・短大・大学院のすべての学科・専攻・コースの学外選抜卒業制作作品展です。

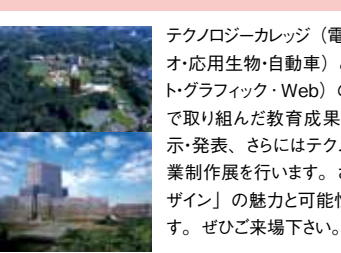
オープニングイベント 2/11(金・祝) 17:00 - 佐野ぬい学長によるライブペインティング

JOSHIBI レインボー・アワード ゲスト審査員:葛西 薫氏、小山登美夫氏、曾我部昌史氏  
 http://www.joshibi.net/gwd/

2010年に創立110年を迎える女性のための美術大学です。2010年4月に教育組織を改編し、芸術学部(4年制)の美術学科(洋画・日本画・立体アート・芸術表象)、デザイン・工芸学科(ヴィジュアルデザイン・プロダクトデザイン・環境デザイン・工芸)は神奈川県相模原キャンパスで、芸術学部のアート・デザイン表現学科(メディア表現・ヒーリング表現・ファッションテキスタイル表現・アートプロデュース表現)と短期大学部(2年制)は東京の杉並キャンパスで学んでいます。

相模原キャンパス:相模原市麻溝台1900 杉並キャンパス:東京都杉並区和田1-49-8

**女子美術大学芸術学部工芸学科陶・ガラスコース卒業制作展2011「グラセラミックス!」**  
**1月27日(木)ー2月1日(火)**
**〔最終日17時まで〕**  
**NYK 2F**  
 主催:女子美術大学芸術学部工芸学科卒業制作展2011  
 画 042-778-6645 (工芸学科研究室)



日々学んだこと、感じたことを、作品を通して社会に放つきっかけとして卒業制作展を開催します。日々、土や硝に向き合い、素材の力に驚かされながら、それぞれの想いを形にした器や立体を展示します。作品展示の他「グラセラworks」、「グラセラpieces」というイベントを期間中開催。手で触れ、制作者と鑑賞者がコミュニケーションできるように、陶と硝のパーツを使ってオリジナル小物を制作するワークショップ「グラセラworks」、21人がそれぞれ制作した器でお茶を飲む「グラセラpieces」です。オープニングパーティ1/30(日) 17:00- 皆様のご来場をお待ちしております。http://joshibi-kogei2011.com

**日本工学院ものづくりフェスタ2011**  
**日本工学院デザインフェスタ2011**  
**2月25日(金)ー27日(日)**  
**〔初日14時より、最終日16時まで〕**  
**NYK 2-3F+Miniギャラリー**  
 主催:日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校  
 画 042-637-3179 (八王子キャンパス)

**倉敷芸術科学大学芸術学部美術学科日本画コース有志卒業制作展2011「無人島」**  
**3月1日(火)ー6日(日)**  
**NYKホール**  
 主催:倉敷芸術科学大学日本画コース有志無人島実行委員会  
 画 090-3577-9806 (代表)



4年間、共に切磋琢磨し、感性と技術を伸ばしあった同大学日本画コース8人の集大成としての展覧会です。倉敷での卒業制作展出品作品がメインとなりますが、併せて新作の展示も行います。卒業を迎え、進学・就職の岐点に立った現在、これまでの制作から薄き出した今後の制作活動の指針など、各学生の答えが詰まっています。

**東京藝術大学先端芸術表現科卒業制作展**  
**東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了制作展**  
**「藝大先端2011」**  
**1月15日(土)ー23日(日)**
**NYK全館**  
 主催:東京藝術大学先端芸術表現科卒業・修了制作展2011実行委員会  
 画 info@sentan2011.com 090-3960-0801 (代表)

本展では現代美術、写真や映像、身体表現、音、文章などのあらゆる芸術表現が52人の若いアーティスト達によって発表されます。この時代の芸術表現の在り方について考え、枠組みとしての展覧会というメディアに焦点をあてたシンポジウムやイベントも同時開催していきます。

1/15(土) 19:00-21:00 Specula×藝大先端2011「都市と芸術をめぐる現実(リアリティ)」  
 ゲスト:川俣正氏、桂英史氏、スペシャルゲストを予定  
 1/22(土) 15:00-18:30 公開シンポジウム「メディアとしての展覧会」  
 ゲスト:東谷隆司氏、小谷元彦氏、辛美沙氏  
 その他多数のイベントを開催致します。詳しくはWEBをご覧ください。  
 http://www.sentan2011.com



1999年に設置された先端芸術表現科は、「美術」の分野を超える教育研究の実践を目指しています。従来の芸大・美大では、扱う技法によって各科が編成されてきましたが、先端芸術表現科では、芸術の持つ意味そのものを「表現の問題」として問いかけます。設置以来、地域や社会に深く根ざしたアートプロジェクトや国際的なプロジェクトに積極的に参画し、グローバル化した世界に向けて、私たちの生の意味について創造と提案を続けてきました。アートによって社会と人間を変えていく、それが先端芸術表現科のめざす未来です。 東京藝術大学取手校:茨城県取手市小文間5000

**TETSUSON 2011**  
**「NOWON」**  
**3月10日(木)ー13日(日)**
**NYK全館**  
 主催:TETSUSON 2011実行委員会  
 画 080-6573-4450 (代表) 2011info@tetsuson.org

TETSUSON 2011 は全てのクリエイターに向けて、日韓から集まるスタッフと出展者で作り上げる卒業制作合同展覧会です。3/10(木)は学生同士の交流イベント「テツコレ」、3/11(金)は学生と企業との交流イベント「TETSUトーク」、3/12(土)と3/13(日)は様々な分野から集まったプロによる「公開審査」を行い、多彩な交流を生み出します。更に今年度は1～3年生による企画展示を行います。http://www.tetsuson.org/

学生クリエイターが国内外から分野を超えて集まるTETSUSONは2001年に発足して以来、日本最大規模の学生展覧会として運営されてきました。今年度TETSUSON 2011はテーマ「NOWON＝これまでとこれからの間の今」を掲げ「全ての学生クリエイターにとって刺激的な存在であり続けたい」という理念の基にあらゆる枠を超えたつながりを創出していきます。是非ご来場頂き、皆様の生の声をお聞かせください。



学生クリエイターが国内外から分野を超えて集まるTETSUSONは2001年に発足して以来、日本最大規模の学生展覧会として運営されてきました。今年度TETSUSON 2011はテーマ「NOWON＝これまでとこれからの間の今」を掲げ「全ての学生クリエイターにとって刺激的な存在であり続けたい」という理念の基にあらゆる枠を超えたつながりを創出していきます。是非ご来場頂き、皆様の生の声をお聞かせください。

学生クリエイターが国内外から分野を超えて集まるTETSUSONは2001年に発足して以来、日本最大規模の学生展覧会として運営されてきました。今年度TETSUSON 2011はテーマ「NOWON＝これまでとこれからの間の今」を掲げ「全ての学生クリエイターにとって刺激的な存在であり続けたい」という理念の基にあらゆる枠を超えたつながりを創出していきます。是非ご来場頂き、皆様の生の声をお聞かせください。

染・織・陶・硝の4コースからなる工芸学科は“用の美”の追求を基礎とし、専門的な技術を学んでいます。私達はそれぞれの素材と向き合うことで、自らの手で作り出す喜びを感じ、ものづくりを通して個々の感性を磨いています。今回の展覧会では、陶・硝コースの21人が出品します。相模原キャンパス:相模原市麻溝台1900

**和光大学 表現学部芸術学科**  
**「0時間」**  
**3月2日(水)ー6日(日)**  
**NYK 3F+Miniギャラリー**  
 主催:和光大学表現学部芸術学科  
 画 044-989-7488 (和光大学教学支援室)



大学生生活を締めくくるこの展覧会は、これから社会人になる者、新たな目標を目指す者、作家として活動していく者など、私たちにとって新たなスタートとなります。重大な開始時刻という意味を持つ「0時間」。ここから私たちのはじめの一步を踏み出す姿を、多くの皆様にご覧いただけます。

和光大学の芸術学科は「絵画科」、「彫刻科」などカテゴリ化されておらず、あらゆる学生がひとつの学科の中で学んでいます。また学部や学科の垣根がないため、個人個人が興味のある事柄に対して分野を横断して吸収することができ、分野や媒体を超えて追求しています。そこで学ぶ学生は、常識や既存の概念にとらわれず、自由に創作活動を行っています。東京都町田市金井町2160

**阿佐ヶ谷美術専門学校**  
**卒業・修了制作展**  
**「creative garden 2011」**  
**3月2日(水)ー6日(日)**  
**NYK 2F**  
 主催:阿佐ヶ谷美術専門学校  
 画 03-3313-8655 (代表)



**横浜国立大学 卒業設計 + Y-GSA 修士設計 合同展覧会**  
**3月16日(水)ー20日(日)**  
**NYK 3Aギャラリー**  
 主催:横浜国立大学卒業設計+Y-GSA修士設計合同展実行委員会実行委員会  
 画 045-339-4071 (Y-GSAオフィス)



**東京総合写真専門学校**  
**卒業制作展2011**  
**3月16日(水)ー21日(月・祝)**  
**NYK 2Bギャラリー**  
 主催:東京総合写真専門学校卒業制作展2011実行委員会  
 画 090-9168-1167 (代表)



**We Love Sculpture**  
**～横浜美術短期大学専攻科彫刻クラス SYU-RYO展～**  
**3月16日(水)ー22日(火)**
**〔最終日15時まで〕**  
**NYKホール**  
 主催:横浜美術短期大学専攻科彫刻クラス  
 画 045-963-4181 (横浜美術大学 共通実技科目研究室)



**関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科**  
**第6回HED展 Human Environmental Design**  
**3月19日(土)ー25日(金)**  
**NYK 2Aギャラリー**  
 主催:関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科  
 画 045-786-9829 (人間環境デザイン学科演習室)



**横浜インターナショナルスクール**  
**卒業制作展**  
**4月11日(月)ー17日(日)**  
**NYK 2Aギャラリー**  
 主催:横浜インターナショナルスクール  
 画 045-622-0084 (横浜インターナショナルスクール)



**千葉大学卒業設計展2011**  
**4月29日(金・祝)ー5月1日(日)**  
**〔最終日17時まで〕**  
**NYK 2F**  
 主催:千葉大学卒業設計展2011実行委員会  
 画 090-2939-6353 (代表)



この展覧会は千葉大学建築学科、都市環境システム学科の学生有志による卒業設計展です。千葉大学で培った様々な建築観の集大成である卒業設計を外部へ向けて発表し、多くの方々に見て頂く場として開催しております。また共同出展という本学における新たな試みにより、住宅から都市に至るまで幅広い視野で「今」という時代を見透していきたいと考えております。会期中4/30(土) 11:30-公開審査、講評会を行います。皆様のご来場をお待ちしております。

千葉大学建築学科は、住宅から都市に至るまで人間の多様な生活に密着した空間をつくり出すための方法、建築を構成する材料理解とその施工技術などについて教育・研究を行なっています。都市環境システム学科は、「都市」が抱える様々な課題に対して、都市環境のあり方を総合的に教育・研究する全国でも数少ないユニークなカリキュラムを用意し、21世紀の豊かな環境構築と都市環境問題の解決に対して、総合的かつ積極的に取り組んでいます。千葉市稲毛区弥生町1-33

本展は建築学コース4年生による卒業設計とY-GSA修士設計の合同展覧会です。横浜国立大学では来春、新学部と新大学院が設置され、建築教育も新たな時代を迎えます。そこで本年は「再構築」をキーワードに展覧会を考えます。未来への期待を込めた建築・都市への瑞々しい提案を、多くの方にご紹介したいと思います。その他、若手建築家による講評会や、展覧会のテーマにまつわるゲストを招いてのレクチャーなど、様々な関連イベントも開催します。

横浜国立大学の建築学コースでは、建築と都市を相互に関連づけて考え、設計していくことを学部・大学院と一貫して行なっています。特に修士課程である建築都市スクール「Y-GSA」では、「都市・横浜」を研究テーマとし、山本理顕・北山恒・飯田善彦・西沢立衛の4人の建築家により、国際的な視野を持った建築家養成のための新しい教育プログラム「スタジオ教育」が展開されています。工学部:横浜市保土ヶ谷区盤台579-5 Y-GSA:横浜市保土ヶ谷区盤台79 エネルギーセンター

東京総合写真専門学校は2年という限られた時間のなかで、自ら考え、写真を撮り、プリントを仕上げ、展示構成を考えることを通して、独自の制作プロセスを模索しています。現代社会のめまぐるしい変化に対するアンテナの感度を高め、写真というメディアで積極的にアプローチできる写真家の育成を目指しています。横浜市港北区箕輪町2-2-32

彫刻クラスは第14期生を最後に、終わりを迎える事になりました。そこで、この展覧会を通じて今までの修了生と現学生、教員との交流の機会になればと思い企画しました。さらに、若い作家の作品を老人施設・障害者施設といった公共の施設に設置してもらい、施設に憩いと潤いを提供する為の展覧会としていきます。3/19(水) 18:00-レセプションパーティ、3/20(金) 13:00-オークションを開催致します。

彫刻クラスは2年間で彫刻の基礎を学び、自然の中にある素材を使用し、制作する過程で多くを学びます。このクラスでは一つの素材だけを扱うのではなく、石や木、陶芸粘土、金属、塑造粘土、石膏と多彩な素材を扱っています。制作を通じて互いに協力し合い、自身の新たな発想や感覚を作品づくりに反映させていきます。横浜市青葉区鶴志田町1204

HED展は、関東学院大学人間環境デザイン学科の学生が演習で制作した作品及び卒業研究の成果を展示するものです。第6回目となる今年は、もっともっと成長したいという願いを込めて「more & more」のテーマを掲げ、初めての試みである建築家宮晶子氏による講評会のほか、参加型のワークショップ等を企画しています。私たちの展覧会にぜひいらしてください。

人間環境デザイン学科は、生活デザイン、居住環境、環境保全の3分野からなる学科です。建築系学科の工学的な視点とは異なり、ライフスタイルを中心に据えた住宅のデザインについて学んでいます。住宅のデザインを、住宅そのものだけでなく、生活や環境等をはじめとした幅広い視野でとらえようとしています。金沢八景キャンパス:横浜市金沢区六浦東1-50-1

国際バカロレア後期課程美術科が毎年行っている作品展を一般公開します。今年卒業する7名の生徒が絵画、彫刻、陶芸、インスタレーション、グラフィック、ファッション、デジタルメディアなど幅広い作品を展示致します。YIS の国際バカロレア後期課程美術科は、国際バカロレアディプロマプログラムの一環として2年間の厳しいコースを修了し、多くの卒業生は世界中の名門デザイン校や大学に進学します。今回開催する展覧会は、本校PTAのご協力により開催できることとなりました。

横浜インターナショナルスクールは、横浜の国際ビジネスコミュニティにより1924年に設立されました。現在では約45カ国より集まった700名近くの生徒がプリスクールから第12学年(年少から高校3年生)に在籍しております。本校は世界で2番目ごインターナショナルと称した学校で、支援の整った環境の中で高水準かつバランスのとれた教育プログラムを提供することを使命としております。生徒達の勉学及び社会的能力の向上を助け、国際人としての可能性を最大限に高める教育理念を掲げております。 横浜市中区山手町258